

助産雑誌 Back Number

◆ 2015 年 5 月号



特集

女性が主体的に産むための助産ケア

妊娠期から分娩期、産後にかけて助産師が女性や家族に対して行なう助産ケアを特集しました。技術の紹介のみならず、妊娠期から女性に「自分で産むんだ」という自覚をもってもらい、地域で生活していく力を育むなど、女性の力を引き出す支援の方法をお伝えします。

◆ 2015 年 4 月号



特集

産婦の身体の声をしきくアセスメント能力を高めよう

「聞く」「聴く」「訊く」の「3つのきく」をキーワードに、言葉、表情、行動などから産婦の身体が何を伝えようとしているのかを感じ取り、アセスメントにつなげていける解説をしました。意識的にアセスメントすることで、より豊かな助産実践が可能になります。

◆ 2015 年 3 月号

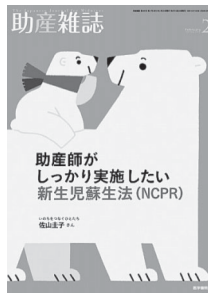


特集

ペリネイタル・ロスのケアを考える

流産・死産・新生児死亡などで周産期に子どもを亡くす家族は未だ多く存在し、そのような家族に対するケアの必要性が認識されています。本特集では、ペリネイタル・ロスのケアに際して基盤となる考え方や、家族が望むケアについてお伝えします。

◆ 2015 年 2 月号



特集

助産師がしっかり実施したい新生児蘇生法(NCPR)

新生児蘇生法(NCPR)を、いざという時に自分の判断で自信をもって実施してほしい。ためらうことなく臨んでほしいという思いから、特集を組みました。出生からの60秒間に立ち会う助産師が、新生児蘇生技術を維持・向上する方法をお伝えします。

◆ 2015 年 1 月号



特集

少子化、分娩施設の集約、就業場所の偏在 etc.から助産師のよりよい未来像を描く！

少子化による分娩件数の減少など、現在助産師が直面している課題はさまざまあります。本特集では、助産ケアのみならず、産後ケアや育児支援などでも、助産師が社会から必要とされるなか、今後どのように助産師の未来を切り拓いていけばよいのか考えます。

◆ 2014 年 12 月号



特集

キャリアを積むということ 助産師としての私の働き方

今後キャリアをどのように積むべきか、迷う方も多いのではないでしょうか。本特集では、助産師という専門職をどのように母子とその家族、そして自身のために活かすのか、モチベーションをもち続け、主体的にキャリアを開発していくことの大切さを考えます。

◆ 2014 年 11 月号

特集

『産婦人科診療ガイドライン—産科編 2014』の改訂ポイント解説

10 月号

コミュニケーション術をみがいて、いいお産をめざす

9 月号

お父さんの「父親力」を高める

8 月号

知っておきたい、新生児・乳児のこと 病気の不安から母乳育児の疑問まで

7 月号

タッチケアの新たな時代

6 月号

母乳不足と補足を考える

5 月号

科学的根拠からみなおす助産技術

バックナンバーのお取り扱いについて

① 2013 年 6 月号以降の雑誌は、メッドブック(TEL: 03-3817-5666)にて承ります。

② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。

株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11 TEL: 03-5947-4781 FAX: 03-3923-4539